



豊橋市政記者会、蒲郡市政記者クラブ同時

平成19年10月4日（木）

愛知県産業技術研究所

担当 三河繊維技術センター 島上、古田

電話 0533-59-7146

愛知県産業労働部地域産業課

担当 技術振興・調整グループ 石川、高須

内線 3360、3362

（ダイヤルイン）052-954-6340

## 籐<sup>※1</sup>の切れ端をインテリア用品に活用する

### 繊維化技術、着色技術を開発しました。

愛知県産業技術研究所では、有限会社野々山籐屋（愛知郡東郷町）と共同で、籐端材を繊維化する技術と、籐端材を着色して新たな籐製品の一部として有効利用する技術を開発しました。

繊維化技術では籐の優れた特徴である調湿性<sup>※2</sup>を維持しつつ、糸や不織布に加工することに成功しました。また、着色技術では、繊維製品に用いられている方法を活用し、従来法の欠点であった色落ちの問題を解決しました。

この成果を活用した試作品を、平成19年10月12日（金）、13日（土）の2日間、蒲郡商工会議所で開催される「テックスビジョン2007ミカワ」において展示します。

#### 1. 開発の背景

夏の涼を演出する籐は、非常に優れた調湿性を持つため、夏用の敷物や脱衣所の敷物などに広く利用されています。しかし、床の形に合わせて敷き詰めるため、敷物の端加工の際に多くの切れ端が発生し、全体の1割以上が端材として廃棄処分されているのが現状です。

そこで、愛知県産業技術研究所三河繊維技術センターでは、企業と共同して、平成18年度からこの端材の有効利用に向けた研究に取り組み、このほど、繊維化技術及び着色技術の開発に成功しました。有効利用による廃棄コストの削減も期待できます。

## 2. 開発した技術について

### (1) 繊維化技術

籐は煮沸しても柔らかくならず、開繊機<sup>※3</sup>で繊維状にほぐすことはできません。今回、170℃前後の水蒸気で蒸煮する方法を採用したことにより、硬い籐を適度に柔らかくすることが可能となり、開繊機を用いて繊維化できるようになりました。この繊維状物質を100%あるいは他の繊維と混ぜて、糸や織物、不織布、紙などに加工することにより、インテリア用品に趣を醸し出す新素材としての活用が期待できます。



ランプシェード



壁掛け



糸とインテリア織物

### (2) 着色技術

籐は、従来より塗料を用いて着色されていましたが、表面が擦れるなどして色落ちがしばしば発生していました。この課題を解決するため、繊維製品に用いられる染色技術で着色を試み、色落ちの心配のない着色ができるようになりました。比較的大きな端材については、耐久性の高い着色が可能となったことで、新たな籐製品の一部として有効利用することができるようになりました。



チェアーマット



トイレマット

### 3. 今後の展開

トイレマットなどの着色製品については、現在、共同開発企業がサンプル出荷、ユーザー評価の準備を進めており、来年度中には本格的に商品化される予定です。

繊維化技術については、展示会等への出展を通して関心を持つ地元企業を募り、商品化に向けての検討を進めてまいります。

### 4. 出展予定

繊維化技術、着色技術を活用した籐端材によるインテリア用品を10点ほど、「テックスビジョン2007ミカワ」（主催：テックスビジョンミカワ開催委員会）の三河繊維技術センター研究試作展コーナーにおいて展示します。

(1) 会 期：平成19年10月12日（金）、13日（土）の2日間

午前10時から午後5時まで（13日は午後4時まで）

(2) 場 所：蒲郡商工会議所（1階コンベンションホール）

〒443-8505 蒲郡市港町18番23号

### 5. 問い合わせ先

愛知県産業技術研究所 三河繊維技術センター

担 当 島上、古田

所在地 蒲郡市大塚町伊賀久保109

電 話 0533-59-7146 FAX 0533-59-7176

URL <http://www13.ocn.ne.jp/~amtrij>

（10月5日（金）午前9時からホームページ上に掲載）

## 【用語解説】

### ※1 籐について

籐は、ヤシ科トウ属に分類される約 600 種の植物の総称で、多くはつる植物です。籐は曲げに強く、丈夫な素材であるため、家具や籠、ステッキ、鞭など様々なものに使用されています。

### ※2 調湿性について

環境中の湿度を調節する性質を調湿性と言います。籐は高湿度のときは水分を吸収して湿度を下げ、低湿度のときは水分を放出して湿度を上げる働きがあります。

### ※3 開織機について

夾雑物を除去しつつ、板状に絡み合っている繊維をほぐして綿（ワタ）状にする機械で、古着等をリサイクルする際によく使用されています。